



特別展

山本容子銅版画展

2023年6月7日(水)～9月4日(月)

詩画集

プラテローロとわたし

詩画集『プラテローロとわたし』(波多野陸美訳 2019年刊 理論社)は、スペインの詩人ファン・ラモン・ヒメネスの散文詩と山本容子の銅版画とが織り成す美しい作品集です。本展では、同書に掲載された銅版画の原画を展示します。山本容子は、都会的で軽快洒脱な色彩で、独自の銅版画の世界を確立してきた銅版画家です。絵画に音楽や詩を融合させるジャンルを超えたコラボレーションを展開しています。また、数多くの書籍の装幀、挿画を手がけています。ファン・ラモン・ヒメネス(1881-1958)はスペイン近代文学を代表する詩人のひとりで、1956年にはノーベル文学賞を受賞しています。青年期に心の病を得たヒメネスが静養のために帰郷して、療養生活の日々の中で飼っていたロバの名前がプラテローロでした。またこの散文詩には、イタリア生まれの作曲家カステルヌオーヴォ＝テデスコが作曲したギターと朗読のための28曲があります。この〈詩と音楽と絵〉が一体となった素晴らしい詩画集の世界をお楽しみください。

プラテローロ 2019年 ソフトグラウンド・エッチング、アクリル、
パステル、ジェッソ/キャンバス イメージ・サイズ 26x36cm

森の中の家 安野光雅館 コンサート

日時／6月18日(日) 開場12:30 開演13:30～14:30

会場／森の中の家 安野光雅館

メゾピアノ・朗読の波多野陸美さん、ギターの大萩康司
さんを迎え、ヒメネスの詩の世界にふれるコンサート。
山本容子さんの作品と共に楽しんでください。

定員／70名 (5月17日から受付開始します)

申し込み先／予約制WEB (<https://mori.wakuden.kyoto>)

開館時間 9:30～17:00 (入館は16:30まで)

休館日 火曜日 (祝祭日の場合は翌日休館)

入館料 一般1,000円 中高生600円 小学生400円

会場 森の中の家 安野光雅館

場所 京都府京丹後市久美浜町谷764 和久傳ノ森
(TEL/FAX 0772-84-9901)



写真：荒木大甫

山本容子
(やまもとようこ)

森の中の家
安野光雅館



和久傳